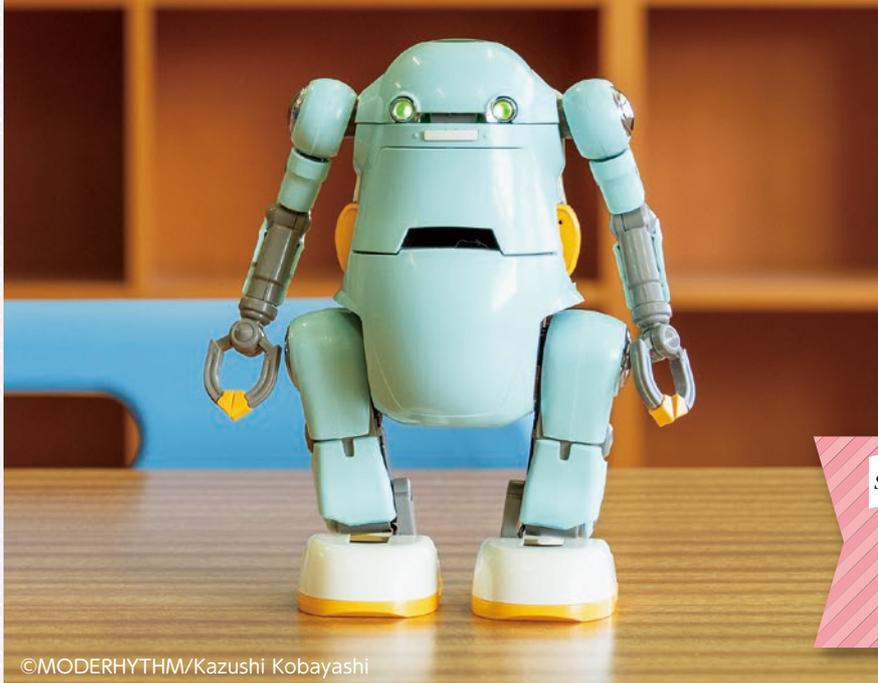


「作りたいたいののは、
「便利な道具」ではなく、
人に寄り添い、
共に歩んでいくロボット」

「メカトロウィーゴ」は3D造形作家である小林和史さんがデザインしたロボットキャラクター。動く構造を作るにあたっては、オリジナルの愛らしい造形を大切にするため、作者の小林さんと協議しながら開発を進めたといいます。



©MODERHYTHM/Kazushi Kobayashi

Story14 あるくメカトロウィーゴ

[伊達市]
 圓株式会社リビングロボット
 info@livingrobot.co.jp 伊達市坂ノ下15
 https://livingrobot.co.jp

「人に寄り添うロボット」を目指す株式会社リビングロボット。同社が2020年に開発した「あるくメカトロウィーゴ」は、子どもでも簡単に操作できるソフトを使って動かすことができるロボットです。現在、県内をはじめ全国の50校を超える教育機関でプログラミング学習に利用されています。「パソコンで指示した通りに動くロボットを見て、子どもたちが目を輝かせるのがうれしいですね。今後は学校はもちろん、介護現場での活用も考えていきたい」と話す川内康裕社長。ウィーゴがあらゆる年齢層に寄り添うロボットとして、私たちの日常にとけ込む日も近いのかもしれない。



伊達市立月舘学園でのプログラミング学習の様子。県内では他に、川俣町や南相馬市、石川町の小中高校の授業で導入されています。

白桃の冷製パスタ

エネルギー
430kcal
(1人分)

材料 / 2人分

- 白桃…1/2個
- スパゲティ(乾麺)…160g
- ヨーグルト…大さじ2
- オリーブ油…大さじ2
- レモン果汁…大さじ2
- 塩…小さじ1/2
- ミニトマト…6個
- バジル…2枚
- こしょう…少々

作り方

- ①白桃は種と皮を除き、1/3は1cm角にカット、残りはヨーグルトとともにフードプロセッサーにかけペースト状にする。
- ②鍋に湯を沸かし、塩(分量外)を加え、スパゲティを規定の時間ゆで、冷水にとって水気を切る。
- ③オリーブ油、レモン果汁、塩を混ぜ、4等分したミニトマト、細かく刻んだバジルと①を加え、スパゲティとあえる。
- ④皿に盛りつけ、こしょうを散らし、バジル(分量外)を飾る。



白桃の甘さと
ヨーグルトの酸味がマッチ

クックパッド福島県公式キッチン
「はら食っち〜な ふくしま」で
レシピ公開中



学生が考案!

おいしい旬ヘルシーレシピ

桃

[収穫時期:7月〜9月]

桃に含まれる食物繊維ペクチンには、腸内の善玉菌を増やしたり腸の働きを活性化する効果があります。ヨーグルトと合わせて取ることで腸内環境を整える働きが期待できます。

桜の聖母短期大学・食物栄養専攻の学生の皆さんが考案したレシピをご紹介します